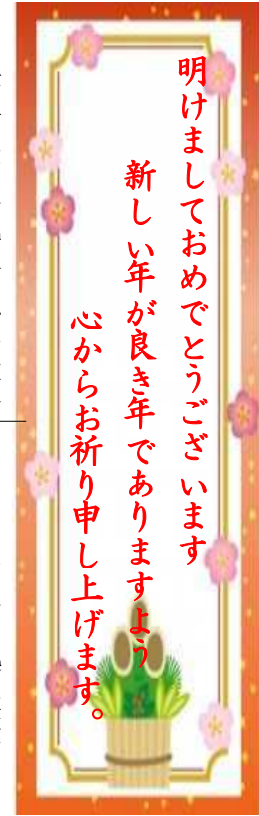


神杉地区自治会連合会

神杉地区自治会連合会
TEL 66-1323
発刊 2019/1/10
12月末(前月比)
人口 1,532(5)
世帯 595(▽1)
ホームページ
<https://kamisugi-m.com/>



昨年は神杉地区自治会連合会の各事業に多くのご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。特に神杉三大行事を始め多くの事業が地域の皆様のご協力をいただき盛会裏に終える事ができ感謝の気持ちでいっぱいでございます。



さて、神杉の拠点整備につきましては、平成三十年三月末には神杉保育所・プールの改築を始めども集会所(放課後児童クラブ)の改築が完成しました。

また、駐車場整備につきましても平成三十年十二月末に完成し、五つの要望の内コミュニティセンターの改築を除いて四つが叶い、順調に進んでいますこと報告いたします。

コミュニティセンターの改築におきましては、施設の劣化を始め生涯学習や高齢者・障がい者、更には災害時の避難所等様々な活動に対して時代の変遷とともに安全性利

便性が機能的に支障をきたすなど住民ニーズに合わなくなってきたいます。そこで建築促進委員会を設立し、本年二月に三次市長宛の要望書提出に向け、現在、神杉地区住民の皆様にご署名のお願いをしているところ です。

地区住民の総意を要望書に添え、早期改築実現に向けて完成するまで粘り強い運動をしたいと思っております。

こうした環境が整備されることにより、神杉地区のまちづくりを更に活力あるものにし、若い人たちが定着し、保育所園児や小学校児童も増加するなかで「住んでよかった笑顔あふれるまち神杉」になるよう一層の取り組みが求められています。皆様の英知を結集していただき住み良いまちづくりを進めていきたい

と思っております。

また、神杉地区防災訓練を三次消防署・三次市消防団神杉分団と地区内二十八自治会の参加のもとで、連絡体制の確認や一時避難所への避難訓練・避難状況の報告等を実施しました。昨年七月の災害後の訓練でもあり避難路等再考される地区もありました。

今回の訓練も多くの課題が出ましたのでこれらを整理し、防災訓練を重ね不意に訪れる災害に備えていきたいと思います。防災訓練も地域住民の皆様の積極的な協力や参加もあり年々充実してきました。嬉しく思っております。反省することは色々ありますが、住民の安全の重要性を改めて認識しつつ皆さんの意見を活かして今後につなげたいと思っております。引き続きよろしくお願い致します。

昨年は嬉しいニュースもありました。十月には銭太鼓高杉会が

大分県で開催された「国民文化祭・おおいた二〇一八太鼓の祭典」に広島県代表として二度目の出演をされました。また、神杉ベアーズは十二月に福島県で開催の全国ママさんバレーボール冬季大会に同じく広島県代表として出場されたことに神杉の誇りとして皆さんと共に喜びたいと思います。

本年は元号が変わります。新たな年に向け神杉まちづくりビジョンの基本目標であります「天下り伝説の里に」大々がふれあい「地域が輝くまちづくり」を目指し、実現に向け皆さんと連携し努力してまいります。

本年もよろしくお願いいたします。皆様のご健康とご多幸を祈念し、年頭の挨拶と致します。

二〇一九年 元旦

神杉地区自治会連合会

会長 有田雅俊

十二月十三日(木)

神杉コミュニティセンター改築 促進委員会設立なる

会議は各自治会選出の二十一名、自治連専門部会二名、自治連三役・事務局の六名、合計二十九名にて開催した。まず出席者の自己紹介に始まり、有田自治連会長からこれまでの拠点施設改築の経過について保育所、小学校プール、こども集会所それぞれ施設の施設整備が地区住民の願い通り順調に進展した旨説明があり、最終となるコミュニティセンター改築に皆さんのご協力をお願いした。続いて事務局より現施設の概要・必要性・



問題点等説明し全員、改築促進委員会設立の主旨に賛同し役員選出へと移った。役員は下記の通り自治連合会三役・事務局が就任した。次に今後のスケジュールについて提案があり要望書(案)について協議し、幾つかの箇所の修正の依頼を受けた

決定事項

- 署名簿の記入は自書押印とする。
- 署名者は地区内外を問わず成人(十八歳以上)とする。
- 各種団体には専用の署名簿で代表者をお願いする。
- 署名運動は一月末を期限とする。
- 要望書提出は二月中を予定する。
- 建設は三年後の二〇二二年度を目指す。

現在各地区にて促進委員さんより署名簿を持参・回覧されています一人でも多くのご署名をいただきますようご協力をお願いいたします。

あなたの力をお貸しください

一緒に頑張りましょう。

神杉コミュニティセンター改築促進委員名簿

地区・部会名	氏名	地区・部会名	氏名	地区・部会名	役員
1区	日熊 学	11区	横永 利明	21区	中山 百輔
2区	和田 至弘	12区	藤田 康博	22区	黒郷 純次
3区	森藤 孝雄	13区	松岡 和徳	23区	角矢 活人
4区	山元 康成	14区上	盆子原由美子	24区	新川 誠司
5区	田原 義隆	14区下	藤田 恒造	公衆衛生・生活安全部会	山中 晴芳
6区上	新宅 泉	15区	中村 猛	文化・生涯学習部会	住田 彰宣
6区下	北村 晋三	16区	岡崎富士夫	青少年育成・子育て部会	今本 満
7区	山田 禎彦	17区	中井 康二	社会福祉部会	松田 敏昭
8区1	國原 茂正	18区	松島 修	スポーツ部会	藤本 明斗
8区2	平岡 末夫	19区上	脇塚 隆彦		
9区	國原 義朗	19区下	向井 一彦		
10区	山本 文三	20区	黒瀬 洋		

役員体制

改築促進委員長	有田 雅俊	事務局長	有田 新治
副委員長	新祖 光敏	事務局	梶田智恵美
	山口 浄		日高 康雄



平成 30 年度防災訓練開催 12/9



人員報告

訓練は十二月九日折からの豪雨による河川の氾濫急傾斜の土砂崩れの危険性があり同日午前八時に神杉防災本部役員が神杉小学校体育館へ七名集合した。同八時三十分三次市災害対策本部より避難指示が発令された想定し訓練がスタートした。訓練はまず地区住民の皆様を各地区の一次避難所へ避難いただくよう本部役員四名が全二十八自治会の防災委員宛に避難誘導開始の連絡を発信した。また、集合状況などの報告もお願いし、地区代表者数名の小学校体育館への避難(訓練参加)を依頼した。



心臓マッサージ

一次避難所への集合人員は在籍人員千九十七名中五百九十七名の参加を得たが三地区では在籍人員数を把握されておらず今後の課題のひとつとなった。九時三十分には全自治会の七十八名とJA女性部の消防団・消防署の合計百三十名が体育館内三班編成で訓練を開始した。一班は三次市危機管理課白附係長より新聞紙での簡易スリッパの作成と毛布と竹棒を利用した担架作製の指導を受けた。二班は三次市消防署員より心肺蘇生機(AED)の使用法を学んだ。三班は同じく消防署員よ

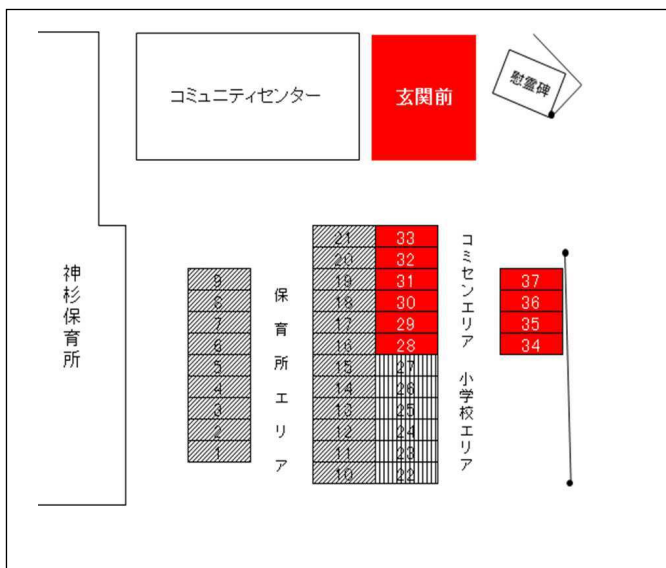


ロープ結び

りロープむすびの指導を受け、各二十五分で全員がローテーションした。十一時からは三次消防署花本小隊長による講話に耳を傾け非常時の対応に参考となる内容であった。十一時三十分には消防署の福岡分隊長及び新祖副会長から講評をいただき防災・減災の基本は『自分の命は自分で守る』ことと認識を新たにしました。解散時JA女性部十四名による炊出しの『おむすび』を全員にいただき、今年度の防災訓練を終えた。

新駐車場完成

12月末完成に向けて工事が進んでいましたが、予定期間内に最後のアスファルト舗装工事が完了して本年から使用できるようになりました。工事期間中は何かとご不便をお掛けしました。なお、総区画は37区画で内訳は、小学校6・保育所21・コミュニティは赤色10エリアです。それぞれの配置は左図をご覧ください。追 コミュニティ玄関前もOKです。



ママさんバレー全国大会 行って来ました！

去る十二月七日から十日まで、福島県福島市で開催された全国ママさんバレーボール冬季大会に出場に際しまして、神杉地区の皆様には心温まる激励のお言葉やご厚志を賜り、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。初めて全国大会という大舞台に立ち、全国のレベルの高さと広島県代表としてのプレッシャーを感じつつも、神杉ベアーズの粘りとなぎのバレーを微弱ながらも発揮し、最後まであきらめずに楽しんでプレーできたことは、大変貴重な経験と神杉ベアーズの財産となりました。今後は益々練習に励むべくと共、少しでも地域に貢献し、皆様からいただいた温かいお気持ちに恩返しできるような頑張っ参りますので、変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い致します。



神杉ベアーズ一同

わくわく講座

(クリスマス会)

十二月十三日ちよっぴり気の早いサンタが自治会館にやってきました。同講座では本年最後の催しに二十九名が各々三、四位のプレゼントを片手に集まった。会では急きよ結成なつたトインチャイム演奏 横山さんのお笑い付手品 川添さん提供のゲームで楽しんだ上、ケーキをいただき、最後にプレゼント交換してあつという間の二時間を過ごしました。



行事予定

1月

- 7日(月) 仕事始め
- 10日(木) 広報紙配布
- 20日(日) グランドゴルフ月例会
- 23日(水) わくわく講座
- 27日(日) 神杉地区囲碁大会
- ” スキーツアー

2月

- 5日(火) 神杉大田植実行委員会
- 12日(火) 広報紙配布
- 16日(土) 東部地区文化交流会
- 17日(日) 同上
- ” 神杉地区球技大会
- ” グランドゴルフ月例会

山脈俳句会 (十二月)

風花や頼りなき世のしるべかな
 合わす手もふるえる今朝の寒さかな
 ひっそりと心と和ます寒椿
 箱いっぱい思いつめこみ柚子も副え
 白菜を洗いてうれしや冬日和

加藤 茂夫
 上坂 ハルカ
 中藤 博文
 広川 テル子
 山下 郁子

編集後記

明けましておめでとうございます。今年、亥の年、十二支の最後となり、次の始まりに向けて新たなエネルギーを蓄える年と言われています。地域の熱意を蓄え、目標に向かって邁進したいと思えます。今年一年皆様のご多幸を祈念しつつご支援ご協力いただきありがとうございます。

(新)